



岡山市広報連絡資料



令和7年11月25日

令和7年度11月補正予算（案）について お知らせします

令和7年度11月補正予算(案)について発表します。

内 容

詳細は別紙にてご確認ください。

【問い合わせ先】

岡山市 財政課 粕山・橋本 直通086-803-1146 内線4410・4415

令和7年度11月補正予算(案)について

1 補正予算(案)の概要

本補正予算(案)は、アリーナ整備のための測量・地質調査及び整備運営事業者選定に要する経費や建築資材の高騰に伴う新庁舎整備事業の追加経費等を計上するとともに、台風等の豪雨により被災した農地及び道路の災害復旧工事を行うための経費等について編成するものです。

また、工事の施工時期の平準化を図るための債務負担行為の設定等を編成しています。

	(補正額)	(補正後予算額)	(対前年同期比)
一般会計	11億63百万円	4,112億2百万円	103.3%
特別会計		1,956億62百万円	98.8%
事業会計		793億43百万円	103.3%
予算総額	11億63百万円	6,862億7百万円	102.0%

《主な事業》

- アリーナ整備のため、計画地の測量・地質調査及び整備運営事業者選定のための公募資料等を作成します。
- 新庁舎整備事業について、工事請負契約約款（単品スライド条項、インフレスライド条項）に基づき、建築資材等の高騰分を増額します。
- 宿泊税等の導入に向けた検討を行います。
- 外国人団体旅行客数の好調な推移に伴い、宿泊助成金を増額します。
- 台風15号などの豪雨により被災した農地及び道路の災害復旧工事等を行います。
- 岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業や道路改良事業等の施工時期の平準化を図るための債務負担行為（ゼロ市債）の設定を行います。

2 予算額

(1) 予算総額

(単位:千円)

会 計 別	補正前の額	補 正 額	補正後の額	前年度同期	伸 び 率
一 般 会 計	410,039,543	1,162,597	411,202,140	398,218,524	103.3%
特 別 会 計	195,661,963		195,661,963	198,035,803	98.8%
事 業 会 計	79,343,231		79,343,231	76,787,102	103.3%
合 計	685,044,737	1,162,597	686,207,334	673,041,429	102.0%

(2) 一般会計

ア 歳 入

(単位:千円)

款	補正前の額	補 正 額	補正後の額	構 成 比
市税	140,001,610		140,001,610	34.1%
地方譲与税	2,696,000		2,696,000	0.7%
利子割交付金	65,000		65,000	0.0%
配当割交付金	902,000		902,000	0.2%
株式等譲渡所得割交付金	1,417,000		1,417,000	0.3%
分離課税所得割交付金	148,000		148,000	0.0%
法人事業税交付金	2,094,000		2,094,000	0.5%
地方消費税交付金	18,980,000		18,980,000	4.6%
ゴルフ場利用税交付金	100,000		100,000	0.0%
環境性能割交付金	457,000		457,000	0.1%
軽油引取税交付金	6,000,000		6,000,000	1.5%
国有提供施設等所在市町村助成交付金	57,000		57,000	0.0%
地方特例交付金	1,135,000		1,135,000	0.3%
地方交付税	52,700,000		52,700,000	12.8%
交通安全対策特別交付金	190,000		190,000	0.1%
分担金及び負担金	2,007,013	480	2,007,493	0.5%
使用料及び手数料	6,733,133		6,733,133	1.6%
国庫支出金	82,601,453	2,641	82,604,094	20.1%
県支出金	21,504,023	2,900	21,506,923	5.2%
財産収入	4,076,975		4,076,975	1.0%
寄附金	787,180	450,000	1,237,180	0.3%
繰入金	12,205,528	65,042	12,270,570	3.0%
繰越金	478,175	38,534	516,709	0.1%
諸収入	4,759,353		4,759,353	1.2%
市債	47,944,100	603,000	48,547,100	11.8%
合 計	410,039,543	1,162,597	411,202,140	100.0%

イ 歳 出

(単位:千円)

款	補 正 前 の 額	補 正 額	補 正 後 の 額	構 成 比
議会費	1,217,500		1,217,500	0.3%
総務費	49,311,695	1,075,442	50,387,137	12.2%
民生費	165,671,347		165,671,347	40.3%
衛生費	30,899,069		30,899,069	7.5%
労働費	272,390		272,390	0.1%
農林水産業費	6,935,240		6,935,240	1.7%
商工費	3,302,907	11,355	3,314,262	0.8%
土木費	48,029,765	51,300	48,081,065	11.7%
消防費	11,988,536		11,988,536	2.9%
教育費	59,936,581		59,936,581	14.6%
災害復旧費		24,500	24,500	0.0%
公債費	32,274,513		32,274,513	7.8%
予備費	200,000		200,000	0.1%
合 計	410,039,543	1,162,597	411,202,140	100.0%

(3) 特別会計

(単位:千円)

会 計 別	補 正 前 の 額	補 正 額	補 正 後 の 額
国民健康保険費	64,569,624		64,569,624
用品調達費	43,440		43,440
災害遺児教育年金事業費	14,400		14,400
公共用地取得事業費	143,671		143,671
財産区費	10,443		10,443
学童校外事故共済事業費	12,248		12,248
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	267,606		267,606
介護保険費	72,001,145		72,001,145
後期高齢者医療費	13,068,672		13,068,672
公債費	43,580,778		43,580,778
岡山市立総合医療センター病院事業債	1,949,936		1,949,936
合 計	195,661,963		195,661,963

(4) 事業会計

(単位:千円)

会 計 別	補 正 前 の 額	補 正 額	補 正 後 の 額
病院事業会計	207,159		207,159
水道事業会計	27,789,000		27,789,000
工業用水道事業会計	373,000		373,000
市場事業会計	1,163,857		1,163,857
下水道事業会計	49,810,215		49,810,215
合 計	79,343,231		79,343,231

(5) 基金の状況

(単位:百万円)

（単位：百万円）

区 分	6 年 度 末 現 在 高	7 年 度 中 見 込				7年度11月 補 正 後 現在高見込
		積 立 金		取 崩 額		
		9月補正まで	11月補正	9月補正まで	11月補正	
財 政 調 整 基 金	21,893	7,046		6,000		22,939
市 債 調 整 基 金	1,673	88				1,761
公共施設等整備基金	15,795	35		2,000		13,830
合 計	39,361	7,169		8,000		38,530

(注)市債調整基金は、臨時財政対策債償還基金費及び満期一括償還地方債に係る額を除く。

(6) 地方債残高の状況

(単位:百万円)

区 分		6 年 度 末 残 高	7 年 度 中 見 込					7 年 度 末 残 高 見 込
			元金償還金	借 入 額			借入合計	
				前年度からの繰越分	9月補正 まで	11月補正		
	一般会計	(172,218)	(17,975)	(9,035)	(47,944)	(603)	(57,582)	(211,825)
		329,282	29,629	10,132	47,944	603	58,679	358,332
	特別会計	12,844	1,099		785		785	12,530
小計		342,126	30,728	10,132	48,729	603	59,464	370,862
事業会計		218,511	17,559	4,448	17,818		22,266	223,218
合 計		560,637	48,287	14,580	66,547	603	81,730	594,080
(再掲) 普通会計		(181,876)	(18,880)	(9,035)	(48,729)	(603)	(58,367)	(221,363)
		338,940	30,535	10,132	48,729	603	59,464	367,869

(注) 1.()内は、減税補てん債、臨時財政対策債等100%交付税算入される起債を除いたもの。

2.満期一括償還地方債の償還財源に充てるため市債調整基金に積み立てた額を含み、基金から繰入れて満期一括償還した額は除く。

3 主な事業

金額欄の()は一般財源充当額、単位:千円

区 分	事 業 名	金 額	説 明
総務費	新庁舎整備事業	(0) 649,942	建築資材の高騰等に伴い、新庁舎の整備費を増額補正 [債務負担行為設定] 期間 R7～R8 限度額 352,082 [合併推進債活用事業] 【担当課:新庁舎整備課】
	まちづくり人づくり応援寄附金	(100,000) 100,000	ふるさと納税寄附見込額の増加に伴い返礼品経費等を追加計上 【担当課:税制課】
	アリーナ整備事業	(75,500) 75,500	アリーナ整備のため、計画地の測量・地質調査及び整備運営事業者選定のための公募資料等の作成などを実施 [繰越明許費設定] 設定額 48,000 [債務負担行為設定] 期間 R7～R9 限度額 80,000 【担当課:スポーツ振興課】
	アリーナ整備のための寄附の積立	(0) 250,000	アリーナ整備のための寄附金を基金へ積立 【担当課:スポーツ振興課】
商工費	宿泊税等検討委員会運営事業	(355) 355	宿泊税等の導入に向けた検討を行うための委員会を開催 【担当課:観光振興課】
	外国人団体旅行客向け宿泊助成事業	(11,000) 11,000	外国人団体旅行客数が好調に推移しており、今後も需要が見込まれる宿泊助成金を増額して誘客を促進 【担当課:プロモーション・MICE推進課】
土木費	国補公園緑地整備事業	(26,800) 26,800	アリーナ計画地周辺環境整備のため、北長瀬未来ふれあい総合公園の駐車場進入路等を改修 [繰越明許費設定] 設定額 26,800 【担当課:庭園都市推進課】
	単独道路新設改良事業	(24,500) 24,500	アリーナ計画地周辺環境整備のため、道路を改修 [繰越明許費設定] 設定額 24,500 【担当課:道路計画課】
災害復旧費	農地災害復旧事業	(320) 5,800	令和7年9月5日の台風15号による豪雨により被災した農地(北区日応寺地内)の復旧 【担当課:農村整備課】
	道路災害復旧事業	(59) 18,700	令和7年8月15日の豪雨により被災した道路(市道御津河内御津高津1号線)の復旧 [債務負担行為設定] 期間 R7～R8 限度額 153,000 【担当課:下水道河川計画課】

【債務負担行為に関するもの】

区 分	事 業 名	期 間	説 明
総務費	市県民税システム改修事業	R7～R8	令和7年度税制改正(令和8年1月1日施行)に対応するためのシステム改修 限度額 61,000 【担当課:課税管理課】
民生費	福祉文化会館・市民文化ホール解体事業	R7～R9	労務単価の高騰に伴い、福祉文化会館、市民文化ホールの解体工事費を変更 限度額 39,776 【担当課:文化振興課】

【債務負担行為(※ゼロ市債)に関するもの】

区 分	事 業 名	期 間	説 明
農林水産業費	用排水施設改良事業	R7～R8	水路改修事業 限度額 7,000 【担当課:農村整備課】
土木費	都市交通戦略推進事業	R7～R8	岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業(交差点関連) 限度額 80,000 【担当課:交通政策課】
	国補公園緑地整備事業	R7～R8	石山公園再整備事業 限度額 410,000 【担当課:庭園都市推進課】
	単独道路改修事業ほか	R7～R8	道路改良・舗装事業ほか 限度額 1,075,900 【担当課:道路計画課、道路港湾管理課】
水道事業会計	配水管布設工事ほか	R7～R8	老朽管の更新ほか 限度額 2,784,000 【担当課:経営管理課】
下水道事業会計	公共下水道整備事業ほか	R7～R8	汚水管の埋設ほか 限度額 1,002,900 【担当課:下水道保全課、下水道管路整備課】

※ 施工時期の平準化を図るため債務負担行為を設定するが、当年度の支出は伴わないもの。

令和7年度11月補正予算(案)について

令和7年11月25日



令和7年度11月補正予算（案）の概要

本補正予算（案）は、アリーナ整備のための測量・地質調査及び整備運営事業者選定に要する経費や建築資材の高騰等に伴う新庁舎整備事業の追加経費等について編成するものです。

補正予算額

	（補正額）	（補正後予算額）	（対前年同期比）	（主な事業内容）
一般会計	11億63百万円	4,112億2百万円	103.3%	アリーナ整備事業 75百万円
特別会計		1,956億62百万円	98.8%	アリーナ整備のための寄附の積立 2億50百万円
事業会計		793億43百万円	103.3%	新庁舎整備事業 6億50百万円
予算総額	11億63百万円	6,862億7百万円	102.0%	宿泊税等検討委員会運営事業 0.3百万円 外国人団体旅行客向け宿泊助成事業 11百万円

アリーナ整備事業について（令和7年11月補正予算説明資料）

資料 1

アリーナを整備する意義

現状

- 各リーグ（※）の施設基準の見直しにより、このままでは岡山の地で地元トップチームが上位リーグでプレーできない（※SVリーグ、Bリーグ）
- アマチュアスポーツにおいても、既存会場の使用がひっ迫し、会場の確保に苦慮している

整備により期待される効果

- トップチームが岡山の地でこれからもプレーを継続していくことができる
- アマチュアスポーツにおいても、交通至便性を生かした大規模大会の誘致ができる
- さらに、ライブ・コンサートやMICEなど、これまでできなかった大規模なイベントの開催もできる

アリーナは、市内外に多くの**経済効果**をもたらすとともに
金額には表すことのできない**心の豊かさ**や
岡山への愛着や誇りを生み出す

岡山の未来のため
進めるべき事業と判断

補正予算概要

アリーナ整備関連事業の実施を決定し、発注の準備を進めるとともに、更なる寄附金の募集及び受入に向けた取組を行います。

①アリーナ整備事業

- ・測量、地質調査等委託料 48,000千円【繰越明許費】
- ・アリーナ整備に係る寄附金募集及び受入業務委託料 27,500千円

②国補公園緑地整備事業

- ・アリーナ計画地周辺環境整備のため、北長瀬未来ふれあい総合公園の駐車場進入路等を改修 26,800千円【繰越明許費】

③単独道路新設改良事業

- ・アリーナ計画地周辺環境整備のため、周辺道路を改修 24,500千円【繰越明許費】

（参考）

- ・アリーナ整備運営事業者選定等支援業務委託料 80,000千円【債務負担行為】
- ・スポーツ・文化振興基金への積立金 250,000千円

アリーナ整備事業関連歳出予算額
126,800千円



依頼状況（※重複あり）

R7.11.20現在

- 岡山市：225社
- 商工会議所：101社（その他、議員総会、委員会、常議員会で約60社に説明）
- シーガルズ：44社
- トライフープ：62社
- リベッツ：25社

合計 延べ457社

依頼結果

●内訳

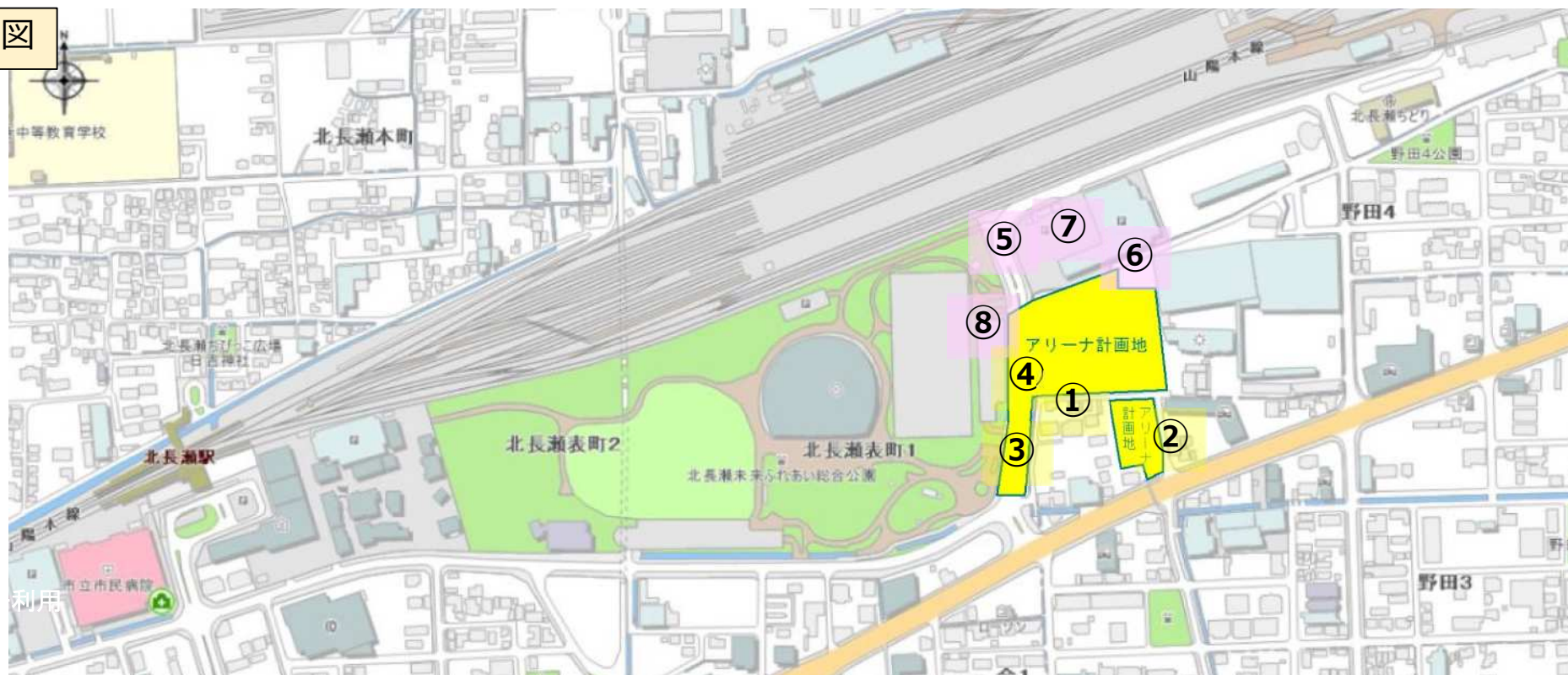
営業結果	件数（社）
確約（寄附金額回答あり）	96
前向き・検討中	225
不可	34
	合計 355

●寄附見込み金額 27億2620万円

アリーナ整備に伴う事業費の考え方について

資料 3

位置図



事業費の考え方

アリーナ関連事業費

アリーナ整備事業費
(PFI 275~280億円)

- アリーナ整備費 260億円
- ペDESTリアンデッキ他 15~20億円
(①,②,③,④)

- 周辺基盤整備 9~12億円
(⑤~⑥,⑦,⑧)
- 測量委託料等 約8億円
(ア~エ)

【周辺基盤整備】

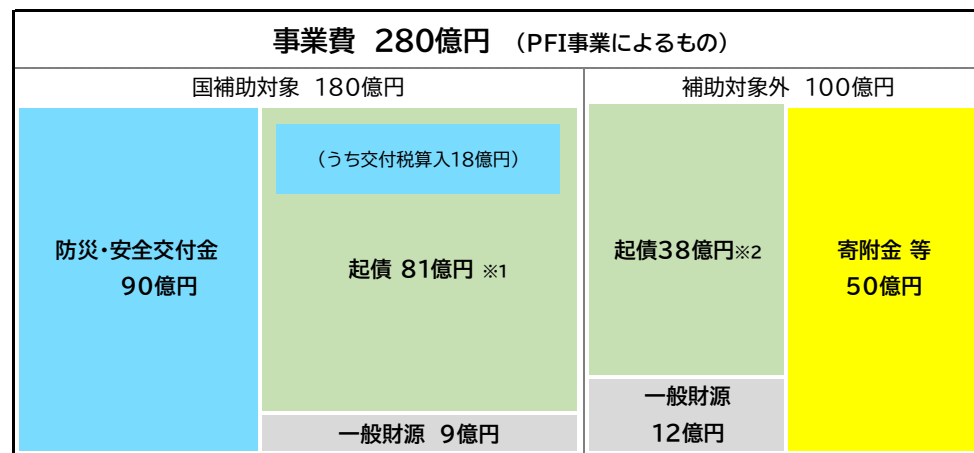
位置	項目
①	市道野田6号線改修
②	市道野田4号線改修
③	廃止市道改修
④	水路改修
⑤~⑥	市道野田3号線等の改修
⑦	立体駐車場の改修
⑧	第2駐車場の改修

【測量委託料等】

	項目
ア	測量、地質調査等委託料
イ	アリーナ整備運営事業者選定等 支援業務委託料
ウ	アリーナ整備に係る寄附金募集 及び受入業務委託料
エ	設計・建設業務に関する モニタリング

アリーナ整備事業費の財源計画について

資料 4

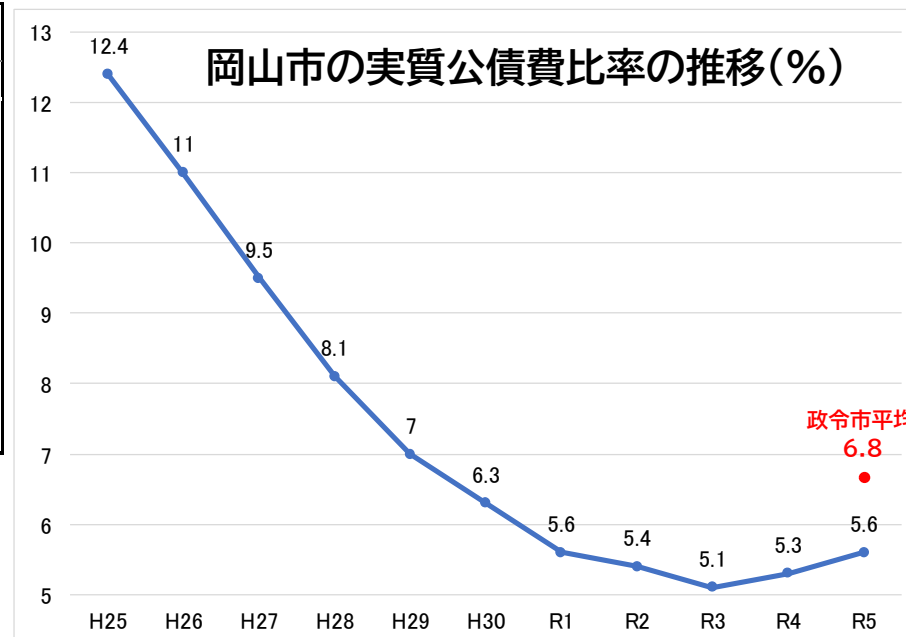


※1 公共事業等債: 充当率90%、交付税算入率22.2%

※2 一般単独事業債: 充当率75%、交付税算入率0%

実質負担額

	国	108億円 (交付金90億円、起債に係る交付税18億円)
	市	122億円 (一般財源21億円、起債101億円)
	経済界等	50億円



岡山市の実質的な負担

○ 交付税算入額を除いた実質的な負担

- 総額: 122億円
 - 起債: 101億円 (81-18+38億円)
 - 一般財源: **21億円** (9+12億円)

○ 実質公債費比率

- 返済額 101億円 ÷ 30年 = 3.4億円/年
 - 実質公債費比率 3.4億円 ÷ 2,126億円 = **0.16%**
- ※ (実質公債費比率) = (返済額) ÷ (標準財政規模 - 交付税措置額)
- ※ 指標の計算上、金利は考慮していない。

※その他、道路・公園などの周辺環境の整備や、調査・委託費等も必要となる

1 事業の趣旨

持続可能な観光の実現に向け、宿泊税を含む新たな観光財源等について調査審議することを目的に、宿泊税等の導入を検討する委員会を設置・運営します。

2 事業内容

①宿泊税等検討委員会の運営

＜委員構成＞ 7名以内を想定(学識経験者、宿泊事業者、観光関連団体関係者 等)

＜開催スケジュール＞ R8.1月から3回程度を想定

＜検討内容＞ 新たな財源の導入の必要性、導入する場合の使途、徴収方法、徴収額 等



②事業費 355千円(財源内訳:一般財源 355千円)

＜参考＞宿泊税とは

- 宿泊税は、地方自治体が独自に課税する地方税(法定外目的税)。先行自治体では、観光振興に要する費用に充てること等を目的に導入
- 宿泊施設(ホテル、旅館、簡易宿所又は住宅宿泊事業(いわゆる民泊)を行う住宅など。自治体ごとに課税対象を設定)に宿泊料金を支払って宿泊した場合に宿泊者に課税される
- 全国では15自治体が導入しているほか、総務大臣同意済みで今後の導入が決まっている自治体も多い

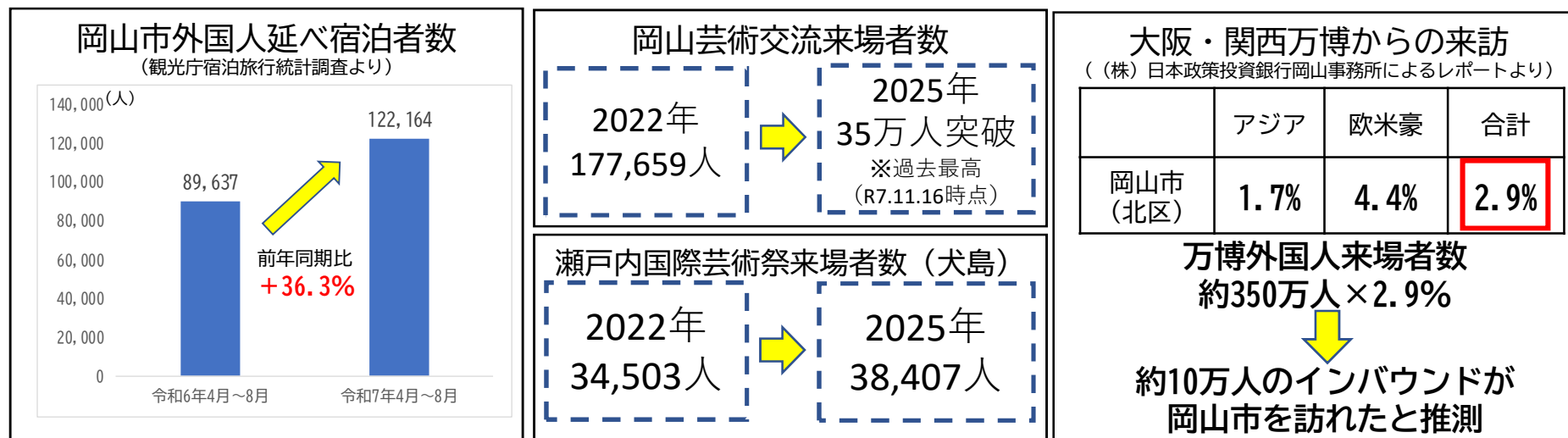
外国人団体旅行客向け宿泊助成事業

令和7年11月25日
プロモーション・
MICE推進課

【概要】 外国からの観光誘客促進を目的に実施している外国人団体旅行客向け宿泊助成金の予算を増額し、さらなるツアー客の増加を図るもの。

【補正予算額】 11,000千円（当初予算額27,000千円）

【背景】 ○外国人延べ宿泊者数は好調に増加⇒4月～8月の前年度比で岡山市は+36.3%（全国は+6.6%）
○岡山芸術交流：来場者数過去最高、瀬戸芸(犬島)：前回より来場者数増
○大阪・関西万博からのインバウンド旅行客の来訪率2.9%⇒約10万人が来岡と推測



令和7年度	当 初	実 績 (9月末時点)	必要額 ※増加率から試算
予 算 額	27,000千円	17,652千円 (65.4%執行)	38,000千円
延べ宿泊者数	9,000人(見込)	6,422人	12,700人(見込)

11月の宿泊分で
当初予算額に
達する見込み

助成金予算の増額により、切れ目なくインバウンド誘客を図る

⇒増額により来ていただいた場合に見込まれる観光消費額 約1億3,400万円※

※約3,660人(利用者見込)×36,618円(宿泊客一人当たり平均観光消費額(令和6年岡山県観光客動態調査報告書より))

令和 7 年度11月補正予算（案）補足資料

補足資料 ページ	事業名	記者発表資料 掲載ページ
9	アリーナ整備事業等	5
10	宿泊税等検討委員会運営事業	5
11	外国人団体旅行客向け宿泊助成事業	5

令和7年度11月補正予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 アリーナ整備事業等

1 事業の趣旨

北区野田の市営住宅跡地にアリーナを整備することとし、アリーナを整備運営する事業者を募集・選定するための専門的支援を受ける委託業務等の予算を計上する。

アリーナ整備により、地元トップチームの試合に加え、今まで岡山では見ることができなかったライブ・コンサートやM I C Eなどの大規模イベントの開催が可能となり、市内外に大きな経済効果をもたらすだけでなく、岡山への愛着と誇りを醸成する。

2 事業内容及び事業費

(1) アリーナ整備事業

- ・測量、地質調査委託料 48,000千円【繰越明許費】
- ・アリーナ整備に係る寄附金募集及び受入業務委託料 27,500千円

(2) 国補公園緑地整備事業

- ・アリーナ計画地周辺環境整備のため、北長瀬未来ふれあい総合公園の駐車場進入路等を改修 26,800千円【繰越明許費】

(3) 単独道路新設改良事業

- ・アリーナ計画地周辺環境整備のため、周辺道路を改修 24,500千円【繰越明許費】

(参考)

- ・アリーナ整備運営事業者選定等支援業務委託料 80,000千円【債務負担行為】
- ・スポーツ・文化振興基金への積立金 250,000千円

3 アリーナ整備スケジュール（参考）

- ・令和7～9年度 事業者の募集・選定
- ・令和9～11年度 設計
- ・令和11～14年度 建築

担当課名	スポーツ文化局スポーツ文化振興課
担当者名	課長 吉田 武生
電 話	内線 4740 直通 803-1617
担当課名	都市整備局道路部道路計画課
担当者名	課長 菊地 良典
電 話	内線 3640 直通 803-1695
担当課名	都市整備局都市・交通部庭園都市推進課
担当者名	公園緑地担当課長 江川 喜博
電 話	内線 3680 直通 803-1392

令和7年度11月補正予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 宿泊税等検討委員会運営事業

1 事業の趣旨

持続可能な観光の実現に向け、宿泊税を含む新たな観光財源について調査審議することを目的に、宿泊税等の導入を検討する委員会を設置・運営するもの

2 事業内容

- ・宿泊税等検討委員会の設置・運営

＜委員構成＞

7名以内を想定（学識経験者、宿泊事業者、観光関連団体関係者 等）

＜開催スケジュール＞

R8年1月から3回程度を想定

＜検討内容＞

新たな財源の導入の必要性、導入する場合の使途、徴収方法、徴収額 等

3 事業費

（1）歳出額 355千円

（2）財源内訳

・一般財源 355千円

担当課名	産業観光局 観光部 観光振興課
担当者名	課長 水岡克也
電 話	内線 4532 直通 803-1332

令和7年度11月補正予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 外国人団体旅行客向け宿泊助成事業

1 事業の趣旨

大阪・関西万博などの大型イベント終了後も、切れ目なくインバウンド誘客を促進するため、外国人団体旅行客向け宿泊助成金を継続して交付するもの。

2 事業内容

（1）助成対象者

旅行催行人数が5名以上であり、全員が岡山市内の宿泊施設に宿泊する、観光等を目的とした外国人団体旅行を実施する旅行会社。

（2）助成金額

1人1行程あたり1泊3千円、2泊以上6千円とし、1団体あたり15万円、1社あたり累計75万円/年度を上限として助成。

（3）実施方法

旅行会社の申請内容及び宿泊証明等に基づき助成金を交付。

※助成金交付事業は（公社）おかやま観光コンベンション協会が実施。

3 事業費

（1）歳出額

・外国人観光客誘致促進事業助成金 11,000千円

（2）財源内訳

・一般財源 11,000千円

担当課名	産業観光局観光部 プロモーション・MICE推進課
担当者名	課長 小野武史
電 話	内線 4534 直通 803-1333